富岡地域医療企業団ニュース

Tomioka Regional Medical Authority News

-Ogenkidesuka-

お元気ですか?

第7号

2022年1月発行

「エゾモモンガ」　撮影者：黒澤 恵子

CONTENTS

■ 富 企業長 新年のごあいさつ ……2
■ 富 七 両院長 新年のごあいさつ ……3
■ 富 紙上ナイトスクール☆彡 お薬相談コーナー便り ……4
■ 富 医食同源 ……5
■ 富 シリーズ職場紹介（臨床工学科） ……6
■ 富 患者満足度調査結果 ……7
■ 七 1病棟のご紹介 ……8
■ 七 シリーズより良い糖尿病治療 -栄養指導で地域連携- ……9
■ 七 ドライビングシミュレーターについて ……10
■ 七 個室改修、外来案内、転院相談 ……11
■ 富 七 地域医療連携だより ……12

新年のごあいさつ

富岡地域医療企業団
企業長　佐藤 尚文

明けましておめでとうございます。〝お元気ですか？〟の読者の皆様は、どのような新年をお迎えでしょうか？今年はもう令和４年、平成なら34年、昭和なら97年となります。

年齢の計算ですとこの方が解り易いかもしれません。西暦なら２０２２年でＣＯＶＩＤ19から3年目となります。日本では約１７３万人の感染者と１８０００人を超える死者を出して漸く収まってきました。第６波が小さい事を祈りますが、自然災害もそうです。未曾有とか想定外とかいう言葉が飛び交って対応不足に対する言い訳をするわけですが、科学的視点で歴史に学ぶのであれば未曾有も想定外も無いと考えています。パンデミック感染症で言えばちょうど１００年前に世界も日本もスペイン風邪を経験しています。このときの犠牲はＣＯＶＩＤ19の10倍を遥かに超えていました。東日本大地震も約１１００年前の貞観大地震をはじめ、過去３５００年間に同規模の地震が少なくとも7回あったという科学的根拠があるそうです。やはり人間は歴史に学べるという他の動物にはない特別な能力がある訳で、それを活かさない理由はありません。その姿勢は歴史に学ぶと同時に、先人に学ぶ、他人に学ぶということと同じです。自分にとっては初めてのことも、周囲に同じ経験をしたことがある人、両親やご先祖様が経験したであろうことも沢山あります。とにかく自分だけが歴史上皆無な経験をすることなど在り得ないわけです。超高齢化社会は同時に多死社会でもあります。日本では年間１４０万人もの人がこの世を去って80万人くらいの新しい命が生まれます。生き方や逝き方も自分にとっては始めての経験になりますが、ここは先人に学ぶことが出来ます。医療を上手に活用して元気に長生きしたいと思いますが、それでも必ず来るお迎えもまた上手に受け入れる、逝き方を学ぶということも普段から心がけることをお勧めします。人は生まれた時から死のキャリヤーです。そう考えると今日1日、今年1年が貴重な大切な時間に見えてきます。今までやりたかったけれど出来なかったことを、今年は始めてみませんか？２０２２年は○○を始めた年、ちょっとワクワクですね。

富岡地域医療企業団
公立富岡総合病院
院長　町田 昌巳

明けましておめでとうございます。

去年は、新型コロナウイルス感染対策に十分注意しながら、診療の回復を目指した1年でした。皆様本当にお疲れ様でした。この原稿を書いている時点では、第5波は一旦収束に向かったものの、県内では陽性件数が再び増加に転じ、第6波が懸念されるところです。海外ではオミクロン株の流行が始まっています。

一昨年はコロナと戦う術を持たずに不安の中で防戦一方でしたが、去年はワクチンや新しい治療薬が承認され、特に高齢者の死亡率が減少してきました。病院においては、標準的予防策で院内感染を防ぎながら一般診療を行う実績が積まれました。しかし、特に検診や外来受診の抑制で、がんの発見や治療が減少しており、その反動が来る可能性があります。

年末年始の人流から第6波があるかもしれませんが、地域のために今やるべき仕事を地道にやっていくしかありません。今年は、ワクチンの追加接種がすでに始まり、新たな治療薬の発売が予定され、終息への仕上げの年になりそうです。今まで中止、延期された様々な行事が、行動様式を見直されながら、再び安全に動き出すことを願っています。

流行にははっきりした波があることがわかってきました。3密を避け、マスク、手洗いといった基本は常に実行しながら、流行に応じて気持ちの切り替えを行って、今年もまた1年頑張りましょう。出口の明かりがわずかに見えてきたような気がします。

富岡地域医療企業団
公立七日市病院
副企業長兼院長　竹原 健

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

一昨年に続き、昨年も新型コロナウイルス感染症により、その対策に奔走した1年でした。春先に新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種に目途がつき、医療関係者から接種が開始になって高齢者、一般と接種が拡大する中、自治体や県の大規模接種会場にも応援に行く毎日でした。その甲斐もあってか、この原稿を書いている12月上旬においては第5波がやっと落ち着き、平穏になるかと思われましたが、新たにオミクロン株が出現しています。この株はデルタ株より感染力が強いとの報告がある一方で重症化は少ないなどの情報もあり、その特徴がわかるまでは多少時間がかかりそうで油断は禁物です。

新たな年を迎えました。新型コロナウイルス感染症とのお付き合いはまだこれからも続くと思われますが、その一方で少子高齢化はこの地域においてもさらに加速度を高めております。当院においてそれがわかるのは外来の訪問診療者数の増加です。これは、利用者が病院に来るのではなく、病院から利用者のところに伺って医療を提供するという流れにシフトしてきているということで、これからも益々伸びそうです。

さて、日本では65～74歳を前期高齢者、75歳以上を後期高齢者としていますがこれもどのような根拠に基づいているかは不明のようです。私が生まれた頃からの長寿番組サザエさんに登場する〝波平さん〟の年齢は54歳という設定でかなり高齢なイメージでしたが、現在の54歳はまだまだ人生これからという印象でしょうか。私は1月生まれなので新年を迎えるとすぐに1歳年を重ねることになり、日本の定義ですとあと2年で高齢者の仲間入りということになりますが、年齢を重ねても高齢と思うのはまだまだ先の話と考えて、今年を過ごしていきたいと思います。改めまして、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

紙上ナイトスクール

新型コロナウイルス感染拡大の影響によりナイトスクールを休止していますが、予定していた講義内容の一部をお届けします。

「お薬相談コーナー」便り

薬剤部　土屋 明美

薬局のお薬相談コーナーで、患者さんからよく聞かれることを3つ記します。

Q1 「1日3回8時間ごとに服用」はどのように飲むのですか？

A1 1日は24時間なので1日3回使用する薬なら、24時間÷3回＝8で、8時間ごとに飲めば薬の血中濃度は均等になります。しかし、寝ているのに起こしてまで飲ませる必要はないので、1～2時間ずれても構いません。生活のリズムにあった服用時間を設定しましょう。例えば、服用時間を7時、15時、22時にするのはいかがでしょうか。15時から22時の間は7時間ですが、23時だと夜遅くなってしまうので1時間早めて22時とします。これなら無理なく服用できると思います。では、「1日4回6時間ごと」はどうしましょうか。この使い方は目薬に多いのですが、夜中に起きてまで点眼することはないので、6時、11時、16時、22時に点眼してはいかがでしょうか。6時に起きて22時就寝なら、起きている時間は16時間なので、16時間÷4回＝4で4時間ごとに点眼するのもよいでしょう。時間ごとに点眼するのが忘れそうなら、単純に「毎食後と寝る前」でも4回差せます。

Q2 痛み止めはいつ飲めばいいですか？

A2 薬袋に「痛いときに服用」と書いてあれば、痛いときに飲んでください。このように「食後」など定期的に飲むのではなく、症状に応じて飲む方法を「頓用（とんよう）」といいます。痛くない、または我慢できる程度なら無理に飲む必要はありません。服用間隔、1日に飲める錠数は薬によって違うので、薬剤師に聞いてください。

Q3 1年前に処方してもらった薬は飲めますか？

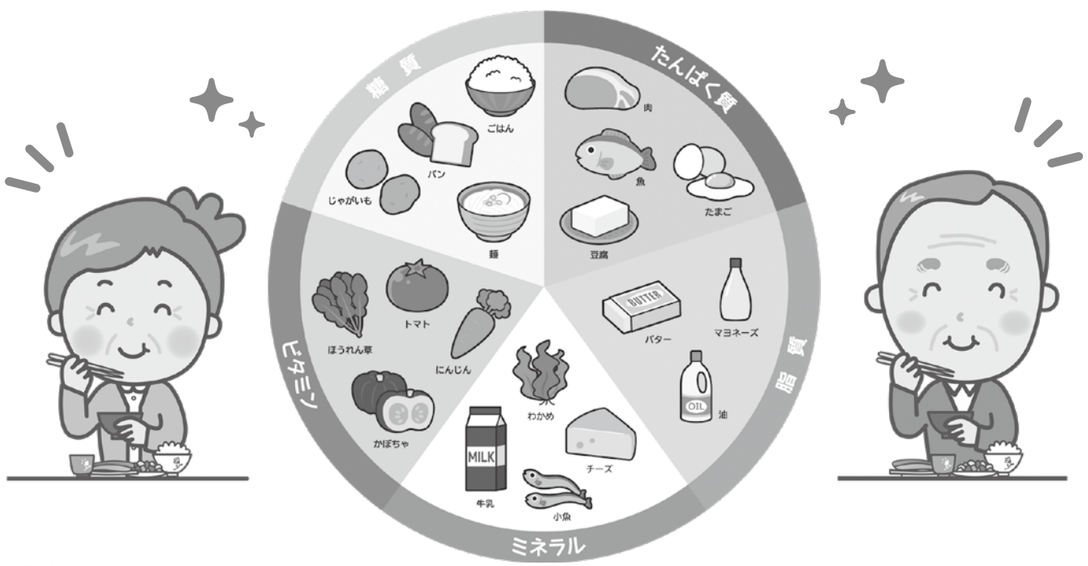
A3 薬はそのときの症状に合わせて処方されるものです。医師から「同じ症状が出たときに使ってよい」と言われている場合を除き、処方日から長期間経った薬は使わない方がよいでしょう。なぜなら、同じ症状と思っても、違う病気かもしれないからです。目薬、軟膏、湿布など外用薬にはそれぞれ使用期限が書いてありますが、あくまで未開封時の使用期限です。

「新型コロナ」前のナイトスクールでは、「みんなで歌おう」コーナーを受け持っていました。「美しい日本語の日本の歌」を念頭に置いて、曲選びをしてきました。冬の季節でしたら、「さ霧消ゆる湊江の～♪」の「冬景色」や「山は白銀　朝日を浴びて～♪」の「スキー」でしょうか。また皆さんと一緒に歌える日が来ることを願っています。

医食同源

外科　門脇 晋

糖質制限という食事の考え方を以前本誌でご紹介しました。医食同源という言葉があるように、食生活こそが医学の基礎、健康の源であるという信念のもとに診療を行っています。現代人の食生活の特徴として、糖質中心の食生活が挙げられます。食事における糖質の割合が多ければ当然たんぱく質や脂質の比率が少なくなります。厚生労働省の「日本人の食事摂取基準」では、1日のたんぱく質摂取量として、成人男性で60g、女性で50gを推奨しています。これで十分な量という意味ではなく、摂取不足を回避する目安の量です。たんぱく質50gを卵で換算すると、約8個分になります。実際には複数の食材を組み合わせて摂取することでようやく達成できる量ですが、卵は1日1個まで、という常識が浸透している現状では、厚生労働省が推奨するたんぱく質摂取量を達成するのはとても大変です。たんぱく質は筋肉だけでなく内臓・皮膚・血液・骨を作る材料でもあり、消化酵素や細胞のエネルギー産生、さらには神経伝達物質や各種ホルモンにも活用されており、まさに心身の健康＝たんぱく質の充足と表現してよいほど、生きる上で欠かせないものです。私が現在試みている食事指導は分子栄養学とも言われ、分子生物学の理論から考案された栄養学であり、糖質制限を応用・発展させたものでもあります。具体的には糖質摂取の割合を減らす代わりにたんぱく質を効率よく日常的に摂取するための具体的かつ現実的な方法を、各々の患者さんの事情に合わせて提案しています。たんぱく質が不足している方はビタミンやミネラルなど他の重要な栄養素も不足しており、それらを満遍なく摂取する対策を取ることにより、これまでの常識では考えられないくらい元気になった患者さんもいらっしゃいます。この理論を診療に導入することで、この地域の医療を30年進めることができたと自負しております。もし興味のある方がいれば、外科外来に相談に来てください。



参考図書

①江部康二『主食をやめると健康になる　糖質制限食で体質が変わる！（ダイヤモンド社）』

②藤川徳美『すべての不調は自分で治せる（方丈社）』

参考ホームページ

①ドクター江部の糖尿病徒然日記

②精神科医こてつ名誉院長のブログ

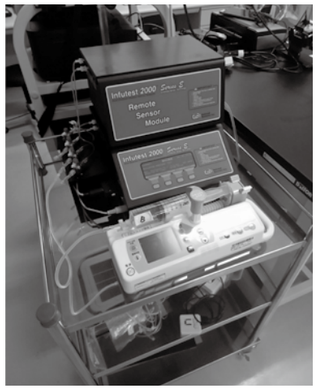
シリーズ職場紹介

臨床工学科

皆さんこんにちは！今回は臨床工学科の紹介をさせて頂きます。「お元気ですか」2020年7月号の職場紹介「血液浄化室編」で臨床工学技士が登場して、そこから約1年ぶりの再登場だそうです。今回は、当科の玄人技士達に聞いた玄人好みの仕事を紹介したいと思います。

①医療機器点検業務

病院内には様々な医療機器が数多く使用されています。患者さんが安心して治療を受けられる様に、私達は使用中点検、使用後点検、定期点検を行っています。今年は輸液ポンプ、シリンジポンプの更新がありました。精密測定試験装置を使用し、ポンプの流量と閉塞圧の精度評価を行い、機種選定に関わりました。



②術中脊髄機能モニタリング

当院では、整形外科による脊椎手術時に術中脊髄機能モニタリングを行っています。術中脊髄機能モニタリングとは、頭部、手、足に電極を付け、電極間に電気刺激を流すことで神経に障害が出ていないかを確認できる装置です。私達は、術中脊髄機能モニタリング装置の準備、装置の操作をしています。脊椎の中には神経が通っており脳からの指令を脊椎の神経を通して体の各部位に伝えています。脊椎の手術は神経に障害が出ないように細心の注意を払いながら行う難しい手術です。手術中は、全身麻酔を行っているので患者さんに声をかけるなどして神経の障害（麻痺）が出ているか確認することはできません。整形外科医師、麻酔科医師、看護師と協力し、術中脊髄機能モニタリングを行い安全に手術ができるように私たちもチームの一員として参加しています。

③血液浄化における エコーガイド下穿刺

血液透析は、腎不全の患者さんに行われる治療です。透析を行う為にシャントと言われる血管の手術を行い、透析を行うときは血管に針を2本刺さなければなりません。しかし、中には血管が細かったり、蛇行していたり、深く潜っていたりして穿刺が困難な場合があります。今までは、その様な血管を穿刺するには穿刺するスタッフの技量に頼っていたのですが、最近は、エコーガイド下穿刺を行うことで、スタッフの技量に大きく左右されず高い穿刺成功率を収めることが可能になりました。当院でも穿刺困難な場合、エコーガイド下穿刺を行い、患者さんの負担軽減に努めています。

まだまだ紹介したいことが沢山ありますが、これで終わりにしたいと思います。また機会がありましたらよろしくお願いします。

令和3年度　患者満足度調査の結果について

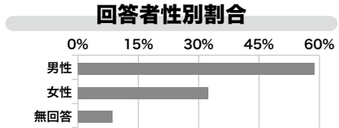
業務や医療サービスの質向上を図ることを目的として、以下のとおり患者満足度調査を実施しました。

入　院

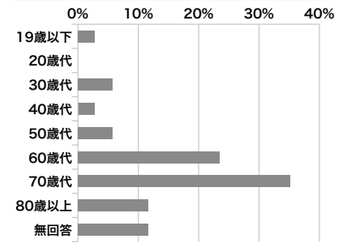
調査概要

■調査期間　令和3年11月17日（水）～30日（火）
■期間中退院患者数　245人
■調査方法　無記名アンケート
■回答者数　34人（回収率 13.9%）
（男性 20人　女性 11人　無回答 3人）

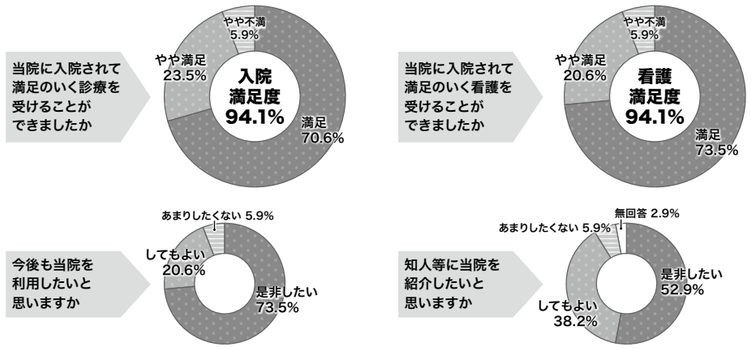
回答者性別割合

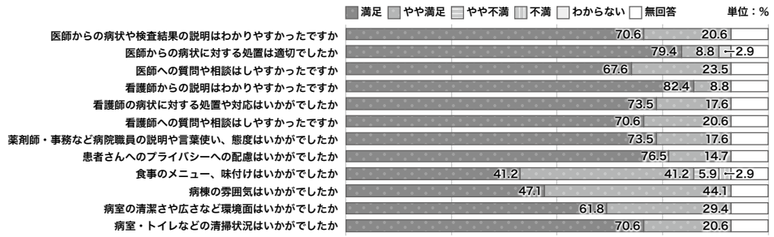


回答者年齢区分割合



項目別満足度（割合）



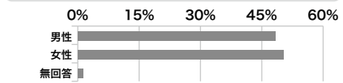


外　来

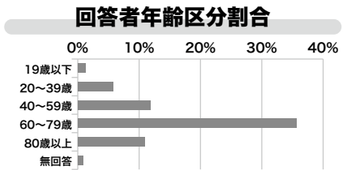
調査概要

■調査期間　令和3年11月18日（木）～11月19日（金）
■期間中外来患者数　1,093人
■調査方法　無記名アンケート
■回答者数　532人（回収率 48.7%）
（男性 257人、女性 268人、無回答 7人）

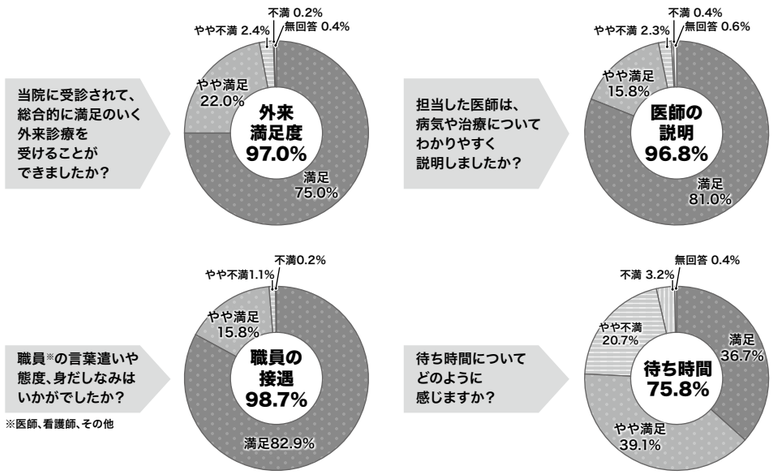
回答者性別割合



回答者年齢区分割合



項目別満足度（割合）



調査結果

満足度に関する質問に対して、「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」の４段階評価で回答していただきました。

入院診療の満足度は94%、看護の満足度は94%でした。項目別では全体的に高めの評価をいただいておりますが、食事面がやや低めな評価になっています。

外来診療の満足度は97%、その他の項目も概ね高い評価をいただいておりますが、「待ち時間に関する満足度」については満足度が低めな評価になっておりますので、改善できるよう今後も検討していきたいと考えています。

入院・外来共に、自由記載欄にご記入いただいた意見につきましては、各部署で回覧し、今回以上の評価をいただけるよう努めて参ります。ご協力ありがとうございました。

令和３年12月16日　公立富岡総合病院　患者満足度向上委員会

Nanokaichi Hospital News
七日市病院ニュース

― 公立七日市病院ニュース ―
地域に根差した病院を目指して

1病棟（一般内科病棟）のご紹介

看護マネジャー 齊田 綾子

1病棟は「障害者施設等入院基本料」という施設基準をとっている一般内科病棟です。処置内容の変動や病態変化の大きい慢性期患者を受け入れる役割を担っています。▼重度の肢体不自由児（者）、▼脊髄損傷等の重度障害者、▼重度の意識障害者、▼筋ジストロフィー患者、▼神経難病などの患者が7割以上入院していなければならないという基準があります。日常生活では全面的に援助を必要とし、長期にわたり医学的管理やリハビリを継続している患者が多く入院しています。

２０２０年度からは、当院が群馬県「在宅難病患者一時入院事業」の受入医療機関として契約を締結したことを受け、在宅で人工呼吸器を装着しながら生活している難病患者のレスパイト入院も受け入れています。

退院先は自宅30％、老人保健施設その他施設等15％、医療機関10％（令和２年度実績）で、外来看護師や訪問看護師、退院後のサービス担当者との退院前カンファレンスを積極的に行い、訪問診療や訪問看護の利用を中心にサービスを調整し、退院後の療養生活が安心して継続できるよう退院支援を行っています。

病棟の特徴から、意思表示困難な患者も多く日々葛藤することも多いですが、患者・家族と向き合うことから逃げずに寄り添い続けていけるよう、スタッフ一同日々努力しています。

シリーズ
より良い
糖尿病治療

―栄養指導で地域連携―

技術部 栄養科係長 金井 崇

糖尿病の食事療法は、日々の習慣が重要です。自己流で極端な食事制限は、ある種の栄養不足を引き起こすことで別の健康障害をもたらす可能性があります。そのためには正しい方法での実践が大切です。

しかし、診療所では一般的に栄養士が配置されておらず、十分な指導が受けられないのが現状です。この問題に対し、地域の診療所と連携し、栄養指導のみ当院の管理栄養士が担当しています。これにより、患者さんはかかりつけ医を変えることなく治療が継続出来ます。栄養指導は、予約時間にお越しいただければ待ち時間無しで受けられます。また、プライバシーが守られた空間でゆっくりと相談できるので、受けられた方からは、「たくさん話しができて良かった」「認識を正せてよかった」などの喜びの感想や「もっと早く受けたかった」と、お声をいただくことが多いです。

栄養指導室
落ち着いた空間でフードモデルや資料を使ってわかりやすく丁寧にご説明致します。

現在、富岡・成清医院さんからのご紹介で、常に数名の患者さんが栄養指導にお越しになっていますが、中には改善後もご自身の希望で通い続けている方や、最近では2、3回の指導でデータが改善し、「自信がついたから自分でやってみます！」と意気込みの言葉をいただけたケースもあります。

このように、栄養指導は診療所に通院されている方でも受けられるので、ご希望があれば是非かかりつけ医にご相談ください。もし、手続き等でご不明な点があれば当院スタッフにお声がけください。栄養士がご説明に伺います。

外来待合室
食事で気になることがあれば管理栄養士が無料でアドバイスします。（注：糖尿病など治療中の方は事前に医師の診察が必要です）

ドライビング シミュレーターについて

ドライビングシミュレーター（以下、DS)とは、自動車運転を模擬的に体験できる機械のことです。当院では2019年から本田技研工業株式会社製「Hondaセーフティナビ」を導入しています。

近年ではハンドルやアクセル、ブレーキペダルなどの誤操作による自動車事故が社会問題となっています。病気によって、手足の動きが悪くなることや、判断力など脳のはたらきが低下することで、自動車の運転技能にも影響を与える可能性があります。一方で、自動車が運転できないと買い物や通院など生活が成り立たないという地域的な実情もあります。

そこで、当院では自動車運転の再開を希望される方に、ペーパーテストや教習所での実車教習と併せて、DSによる検査や練習をしています。

最近では映像や操作感覚など、実際の自動車運転に近い高性能なDSが開発されています。自動車運転に必要な技能を把握し練習するには、実際に自動車を運転することが最良とされていますが、高性能なDSを使用することにより、院内で危険なく精度の高い自動車運転再開に向けた支援が可能となっています。

「Hondaセーフティナビ」で行える検査の一例

反応検査

信号機と同じランプの色に応じて、アクセル、ブレーキペダルをなるべく早く踏む検査です。反応動作の時間やバラツキ、正確さが測定できます。

市街地走行

市街地に模したコース上を指示通りに走行する検査です。自動車を運転する上での認知・判断・操作に関して総合的な技能が測定できます。

運転能力測定結果

測定者NO.: 017		測定日: 2021/11/19	
氏名: ぐんまちゃん		年齢・性別: 35 歳 男性	
評価ランク	優秀 A	良好 B	普通 C	注意 D	不安 E

■単純反応測定

反応動作の速さ	平均時間 0.320114 秒	【健常者30~50代比較】 【 A 】	【健常者同年代比較】 【 A 】
反応動作のムラ	標準偏差 0.052125 秒	【 C 】	【 C 】

反射的な動作が非常に速く、突発的な出来事に対して大変素早い対応ができています。
反応速度のムラは普通で、特に問題の無い対応ができています。

■選択反応測定

反応動作の速さ	平均時間 0.544900 秒	【健常者30~50代比較】 【 A 】	【健常者同年代比較】 【 A 】
反応動作のムラ	標準偏差 0.078726 秒	【 B 】	【 C 】
誤反応	回数 0 回	【 A 】	【 A 】

判断を伴った操作が極めて速く、複雑な状況への対応が大変良くできています。
動作のムラは普通で、判断を伴う状況での操作の安定性は標準的です。

■走行データ

項目	区分	結果	評価
発進停止	急発進操作	0 回	B
	停止線・踏切・赤信号での不停止	1 回	
	急ブレーキ操作	0 回	
	駐車の仕方(指定場所駐車)	-	
合図	合図(ウインカー)なし	1 回	B
	合図方向違い	1 回	
安全確認	後方確認不適	0 回	B
	左右確認不適	- 回	
	前方危険事故等の見落とし	1 回	
	信号、標識、標示等の見落とし	0 回	
位置	停止位置不適	1 回	B
	走行車線不適	0 回	
	車間距離、側方間隔不適	0 回	
	車線のはみ出し	0 回	
速度	速度超過割合	0.5 %	A
	速度超過分の平均速度	9.1 km/h	
	右左折時の交差点内平均速度	14.8 km/h	
全般	道路間違い・指示看板見過ごし	0 回・無	A
	ヒヤリハット(衝突寸前)	0 回	
	事故発生	0 回	

走行データチャート

運転特性チャート

個室を改修しました

患者さんが快適に療養できるよう個室を改修しました。個室はプライバシーが守られ、他の患者さんに気を遣うことがないので、静かにゆったり過ごすことができます。

きれいになったお部屋を是非ご利用ください！

★料金★
5,500円／日
★設備★
机、収納棚、冷蔵庫
テレビ、電話

全体的にホワイトを取り入れ明るいうえ、茶色の腰壁が落ち着きます。広々とした収納棚を増設し機能性が高まりました。なお、テレビ使用料は個室代に含まれます。

外来のご案内

午 前 9:00-12:00
受付時間 8:30-11:30※

午 後 14:00-17:00
受付時間 8:30-16:30

※皮膚科外来は、(月) 10:00からの診察になります。また、(月)(金)ともに受付は11:00までとなります。

		月	火	水	木	金
午前	内 科	○	○	○	○	○
	皮膚科	○	-	-	-	○
午後	内 科	○	○	○	○	○
	整形外科	-	-	○	-	-

2020年6月現在

胃カメラの検査をしています。まずは、内科外来に受診してください。

転院のご相談、紹介方法

現在、療養中の医療機関の相談担当者さまから、転院のご相談を受付けています。
まずは、電話にてご連絡の上、下記の書類を送付して下さい。

★診療情報提供書　★患者さんのADLがわかるサマリ　★検査データ等

長期療養の病棟はありませんが、回復期リハビリテーションに該当しない方でも、お気軽にご相談ください。

連絡先：富岡地域医療企業団公立七日市病院　患者支援サービス課患者支援係
TEL:0274-62-5100（代）受付時間 8:30 ～ 16:00 FAX:0274-62-5211

医療ソーシャルワーカーの配置

病気になり、不安や心配を抱えることはありませんか。治療費の負担や休職による収入減、社会復帰に向けた関係先との調整、介護の問題など、それらは人によって様々でしょう。

困りごとは一人で悩まずに、医療ソーシャルワーカーに相談してください。

医療ソーシャルワーカーは、医療機関で働く相談員のことで、社会福祉士や精神保健福祉士の国家資格を取得しています。公立富岡総合病院や公立七日市病院では、各病棟に担当を配置していますので、気軽に声をかけてください。

公立富岡総合病院

5階	5A病棟 片平	5B病棟 黒澤
4階		4B病棟 黒澤
3階	3A病棟 浦恩城	3B病棟 入山
2階	2A病棟 入山	2B病棟 浦恩城
1階	外来・受付	

南棟（別棟）

PCU病棟 田中

公立七日市病院

3階	3病棟 渡邉	
2階	2病棟 吉田	1病棟 佐々木
1階	外来・受付	

インテーク担当 萩原　　地域連携担当 佐俣

※外来患者については、随時対応いたします。

発　行

富岡地域医療企業団　公立富岡総合病院
〒370-2393 群馬県富岡市富岡2073-1
TEL.0274-63-2111
FAX.0274-64-1406
http://www.tomioka-hosp.jp
tomihp@mail.gunma.med.or.jp

富岡地域医療企業団　公立七日市病院
〒370-2343 群馬県富岡市七日市643
TEL.0274-62-5100
FAX.0274-62-5211
http://www.nano-hosp.jp/
nanobyin@nano-hosp.jp